

チーム目標

部・同好会		マイコン部	
目標		高専プロコン出場 マイコン部のミッションを部員全員で遵守できる	
問題分析		問題を解決するためにしなければならないこと	
優先 順位	1	常にオリジナルを追及する	メンバー全員でアイデア出しを常に行う。 より独創的なアイデアをプロコンに出していく。
	2	常に技術的なチャレンジを行う	最新技術を雑誌、リファレンスなどから 常に学習し続ける。定期的に勉強会を行う。
	3	実践的技術者を目指し、 技術の習得を行う	最新技術を知るだけでなく、独創的アイデアを基に システムを開発し、実践的技術を習得する。
	4	他の学生の模範となる行動 を行う	学校のルールを順守し、更に資格取得などを行って、 学校の中で模範学生として生活する。
	5	プロコン、ImagineCupで の上位入賞を目指す	アイデア出し、技術習得の成果を部内で完結させず、 各コンテスト等に発表する。
	6	プロジェクト管理を 徹底する	プロコンや ImagineCup を通して、部員が無理をせず最 大限成果を上げるために半年単位での日程計画を行 う。
中期計画		中期目標を達成するためにすること	

弓削商船高等専門学校 クラブ活動調査書 2019

	部員全員のスキルアップ (資格1つ以上取得やプログラミング力向上)			
活動場所	長尾研究室			
月	公式戦	活動内容・ねらい	練習試合等の計画	学校行事
4月	プロコン シンポジウム	高専生に求められるモノを学ぶ 技術のトレンドを調査、学習 プロコンのアイデア出し	アイデア出し 技術教育 メンバー選定	部活動紹介 入部式
5月	プロコン 予選資料提出	予選資料作成 システム要件定義 技術調査	プログラミング実習 ニーズ調査	球技大会
6月		システムの外部設計 システムの内部設計 開発開始	プロジェクト管理 ツールの整備 システム設計	前期中間試験
7月		システム開発 U22 作品作成	開発項目をタスク 単位で消化	
8月		システム開発 U22 作品作成 ハッカソン形式でプログラミング実習	開発項目をタスク 単位で消化	前期末試験 夏休み
9月	U22 一次審査	システム最終レビュー デモ・プレゼン練習	バグフィックス 発表練習を1日1回	夏休み

弓削商船高等専門学校 クラブ活動調査書 2019

		バグフィックス	以上行う	
10月	○プロコン本選 ○U22 最終審査 CVG 四国予選	ソースリスト・システム調書提出 機器の手配・発送 プロコン本選	高専プロコン本選	球技大会
11月	△ 商船祭 ○ ICT 四国	システムの展示 1年生の作品展示	システム改善作業 商船祭	商船祭
12月	△総合文化祭	機器の手配・発送 総合文化祭システム展示	総合文化祭	後期中間試験 冬休み
1月		ハッカソン形式でプログラム実習	3日~1ヶ月の 長さで開発	
2月	○CVG 四国本選	ハッカソン形式でプログラム実習 プロコン参加システムの論文作成 アイデア出し	1月と同じ 学会用論文の作成	学年末試験
3月	○ CVG 全国 ○ ICT 全国	システムのアイデア出し 来年度の活動計画作成	来年度プロコンア イデア検討	春休み